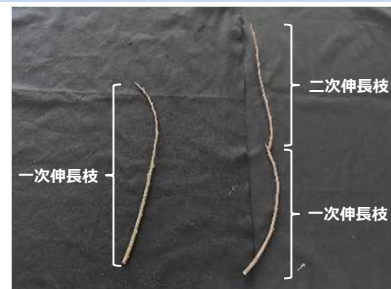


# クリ「筑波」における秋季に伸長した枝の有効利用

秋季に伸長した枝を使用することで穂数が多くなる

## 背景・目的

- 近年、温暖化の影響による秋季の高温化に伴い、秋季でも枝が伸長しています(二次伸長枝)。
- 秋季に伸長した枝にどのように着穂するのか、特性が不明です。
- 秋季伸長枝の着穂特性を調査し、利用の可否を明らかにしました。



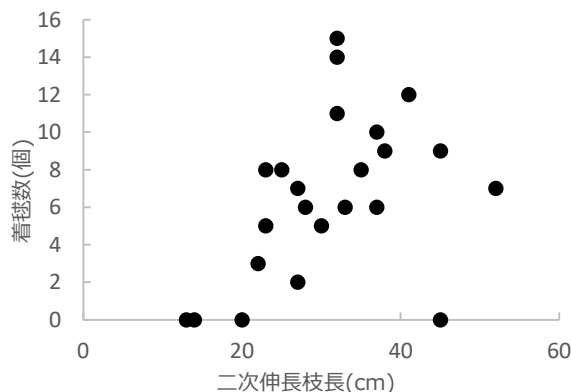
(写真1):一次伸長のみの結果母枝(左)  
二次伸長した結果母枝(右)

## 成果の内容

- 秋季に伸長した枝には通常の枝より多く着穂します。
- 20cm以上の二次伸長した枝によく着穂します。

(表): 秋季に伸長した枝(二次伸長枝)が着穂に及ぼす影響

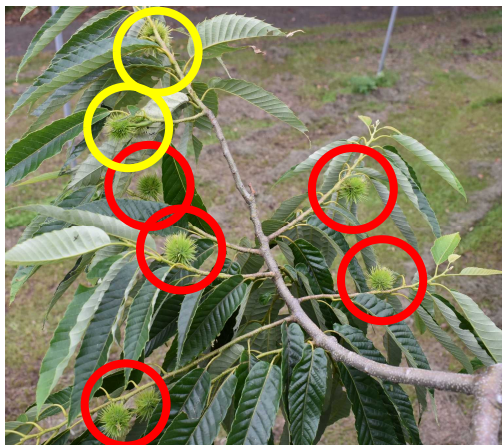
処理区	一次伸長枝	二次伸長枝	合計
	着穂数	着穂数	着穂数
二次伸長枝区	4.7	6.6	11.3
対照区	3.9	-	3.9



(図): 二次伸長枝の枝長と着穂

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 冬季剪定時に、20cm以上の秋季に伸長した枝を残すことで、穂数の増加が見込めます。



(写真2): 通常の枝(左)と  
秋季に伸長した枝(右)での  
着穂状況

赤: 通常枝の着穂  
黄: 秋季に伸長した枝の着穂

- 普及対象地域・面積 西諸県、東臼杵及び西臼杵 栽培面積 199.5ha

## 留意点

- 年によっては秋季に枝が伸長しないこともあります。
- 樹高が高くなるので、防除をしっかりと行います。